

yamabuki i 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No. 1 0 1
平成 19 年 12 月 20 日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

イントラバケッツでクイズを作ろう

イントラバケッツは、ワードなどのオートシェイプのような簡単操作でホームページを作ることのできるアプリケーションです。

テキストボックス、画像枠(写真、お絵かき、スタンプ)、背景、音、添付ファイルなどの部品を組み合わせて、ページを作ります。

ホームページの形ですから、保存したものは、Internet Explore のようなブラウザで見ることができます。

印刷すると、A4 サイズになりますから、備えられている豊富なひな形(テンプレート)を使って、観察記録や絵日記など、様々な作品を作ることができます。

一つの作品がサイトの形を取り、99ページまでを含めることができるので、大きな作品作りも可能です。ページ間のハイパーリンク作成も、ドラッグ&ドロップで設定できますから、低学年でも楽にサイトを構成することができます。

あらかじめハイパーリンクを設定したひな形から作成を始めることもできます。

6年生では、卒業制作として、自己紹介・修学旅行・6年間の思い出・将来の夢、の4項目をまとめたホームページを作り、学年全部を1枚のCDに焼いたものを持ち帰る、という活動をこれで4年間続けていますが、昨年度からは、2年生などで、ハイパーリンクを使った ×クイズ作りを始めました。卒業制作とクイズは、パソコン室のインターネットトップページから参照することができます。

従来2年生では、「わたしのおススメ」というタイトルで、1ページを作り、お互いにそれを見合っ
て感想をメールで送り合う、という授業をしてきましたが、クイズ作りでイントラバケッツに慣れて
からの方がよさそうだと思うようになり、おススメとメールはクイズのあと(3年生)に行うように考
えています。

情報教育の立場からクイズ作りを解説すれば、まず、誰に向けてのクイズか、それによって、
問題の書き方(表現)や問題の選び方が決まってきます。また、背景や言葉遣いなど、見る人に
心地よい作品作りを心がけるように注意しています。クイズ(作品)をお互いにやってみる(見る)
ことで、どういった作品が(こういった観点をふまえて)「いい」のかの判断基準も、子どもたちに身
につけてほしいと思っています。

